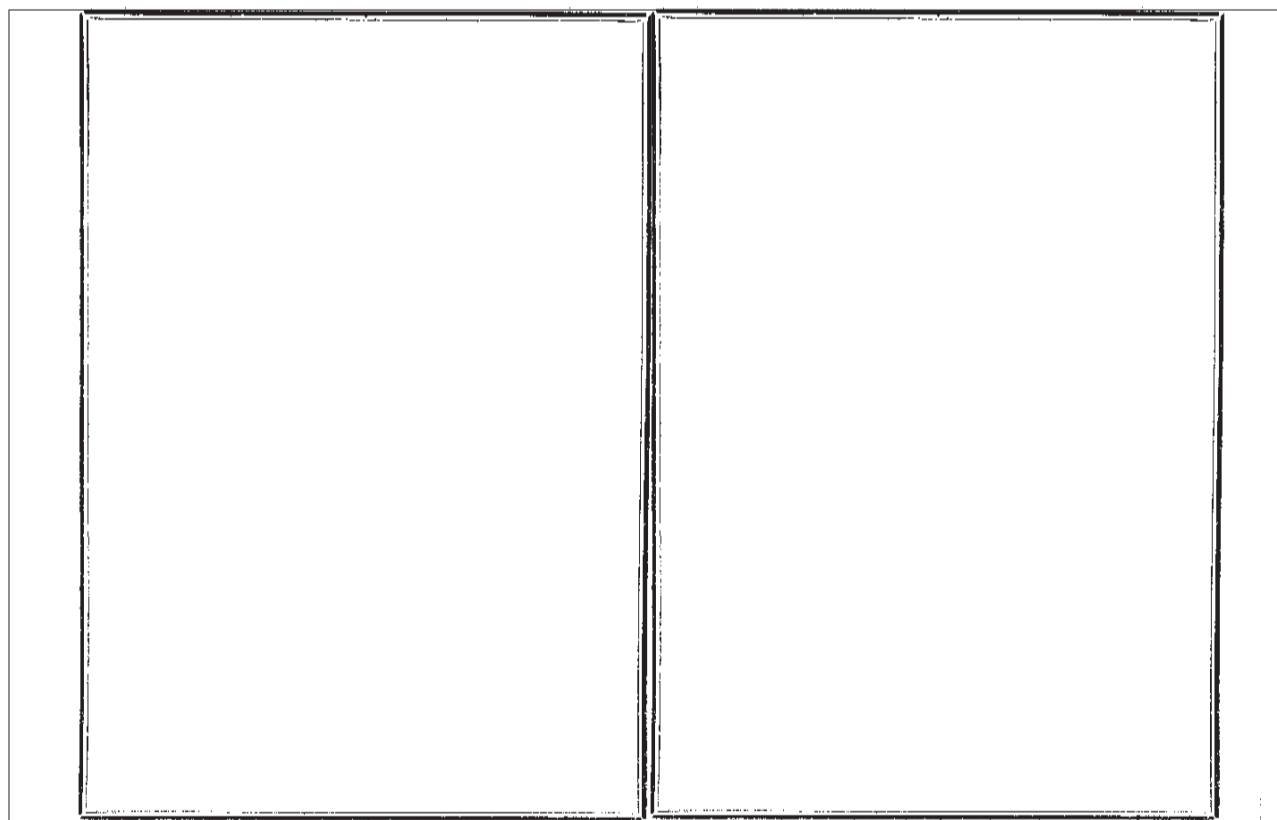
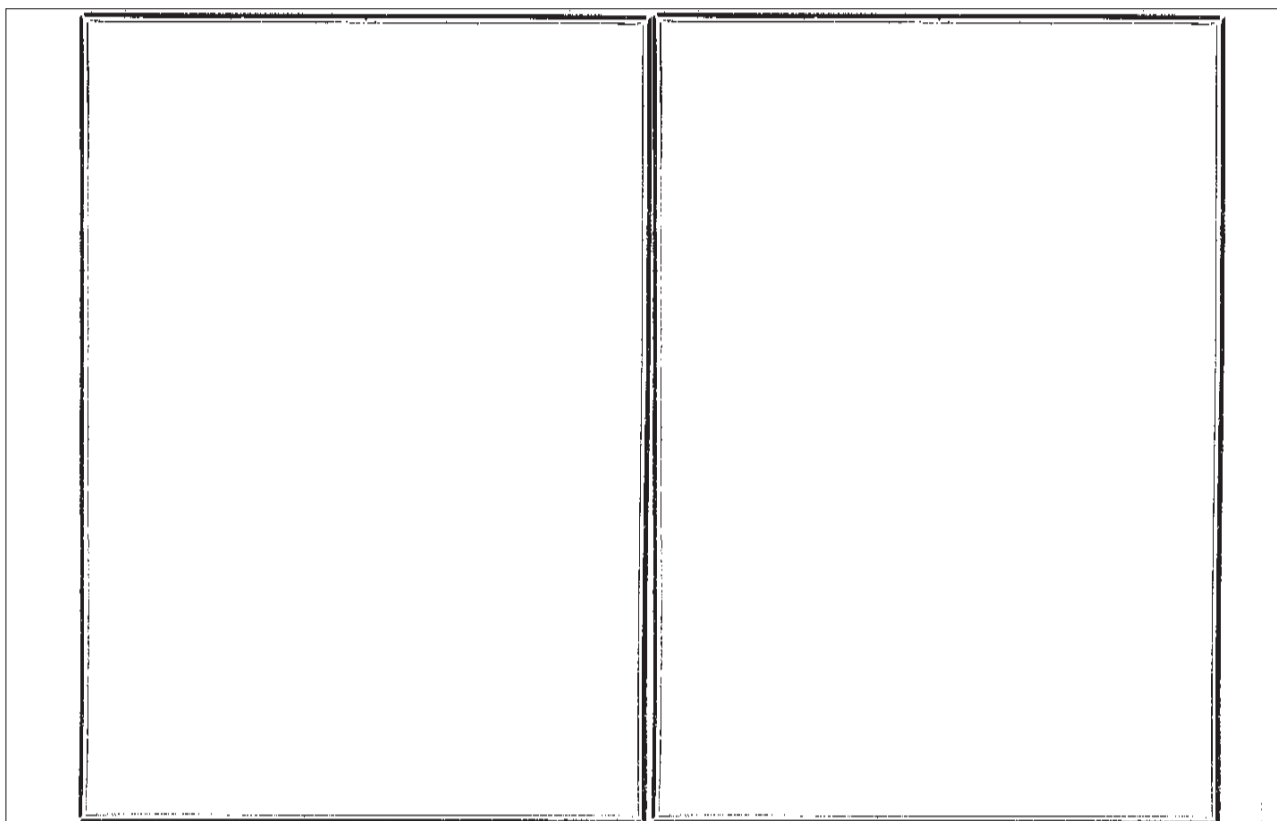


大正三年民團事務報告

天津居留民團



天津居留民團事務報告

(自大正三年一月
至同年十二月)

一、庶務部

(一) 行政委員

昨年三月改選の行政委員は本年三月任期満了に付同月改選せられ其後歸朝辭職の爲め多少の異動ありたり本年中に於ける議長、議長代理者、會計主任及行政委員等を舉ぐれば左の如し

議長

長 峰 與 一 大正二年三月重任、大正三年三月任期満了
長 峰 與 一 大正三年三月重任、大正三年十二月辭任
森 辨 治 郎 大正三年十二月就任

議長代理者

福 山 義 春 大正二年三月就任、大正三年三月任期満了
福 山 義 春 大正三年三月重任

會計主任

西 本 茂 吉 大正二年三月就任、大正三年三月任期満了
西 本 茂 吉 大正三年三月重任

(2)

(1)

行政委員

長 峰 與 一 大正二年三月重任、大正三年三月任期満了
森 辨 治 郎 同 上 同 上
福 山 義 春 同 上 同 上
西 村 博 同 上 同 上
小 貫 慶 治 大正二年三月就任、同 上
西 本 茂 吉 同 上 同 上
藤 田 語 郎 大正二年三月重任、同 上
吉 田 房 次 郎 同 上 同 上
鈴 木 敬 親 同 上 同 上
富 成 一 二 大正二年三月就任、同 上
森 辨 治 郎 大正三年三月重任、同 上
福 山 義 春 同 上 同 上
西 本 茂 吉 同 上 同 上
長 峰 與 一 同 上 同 上
鈴 木 敬 親 大正三年三月重任、大正三年十二月辭任
藤 田 語 郎 同 上 同 上
小 貫 慶 治 同 上 同 上

(4)

(3)

行政委員職務章程に依り本年中委員の事務を分担せること左の如し

財 務

森 辨 治 郎 大正二年四月より大正三年三月迄
西 本 茂 吉 同 上
鈴 木 敬 親 同 上
西 本 茂 吉 大正三年四月より
鈴 木 敬 親 同 上 (兼務)

學 務

沖 田 介 次 郎 同 上
鈴 木 敬 親 大正二年四月より大正三年三月迄
西 村 博 同 上
森 辨 治 郎 大正三年四月より同十二月迄
鈴 木 敬 親 大正三年四月より

士 務

小 貫 慶 治 同 上 (兼務)
福 山 義 春 大正三年十二月より (兼務)
吉 田 房 次 郎 大正二年四月より大正三年三月迄
藤 田 語 郎 同 上
福 山 義 春 大正三年四月より
吉 田 房 次 郎 同 上
藤 田 語 郎 大正三年四月より同十二月迄 (兼務)
清 水 章 三 郎 大正三年十二月より

衛 生

富 成 一 二 大正二年四月より大正三年三月迄
小 貫 慶 治 同 上
藤 田 語 郎 同 上
富 成 一 二 大正三年四月より
小 貫 慶 治 同 上
藤 田 語 郎 同 上

(三) 行政委員會及議事件名

本年中に於ける行政委員會数は二十回、臨時委員會三回、特別委員會十四回、回覽決議十一回其議事件數百二十五件にして内再議九件、委員附託十三件、可決八十件、修正可決九件、否決四件、承認六件、宿題五件なり其月日及件名左の如し

- 一、臨時傳染病室開始の件 大正三年一月三日
- 一、臨時傳染病室開始の件 大正三年一月十六日
- 一、大正三年度營業課金負担等級額決定の件 大正三年一月十九日
- 一、大正三年度取得課金負担額決定の件 大正三年二月五日
- 一、特別基金決算報告の件 大正三年一月十九日
- 一、圖書館評議員囑託の件 大正三年一月三十日
- 一、臨時傳染病室繼續開始の件 大正三年二月五日
- 一、薩南震災被害地慰問狀發送の件 大正三年二月五日
- 一、大正三年度新規營業課金負担等級額決定の件 大正三年二月五日
- 一、大正三年度營業課金負担等級追加決定の件 大正三年二月五日

(6)

(5)

- 一、大正三年度取得課金負担額決定の件 大正三年二月十日
- 一、天津小學校建築に關する件 大正三年二月十日
- 一、共立小學校補助費増額に關する件 大正三年二月十日
- 一、松田訓導休職に關する件 大正三年二月二十九日
- 一、天津小學校々舎建築に關する件 大正三年二月二十九日
- 一、共立小學校補助費増額の件 大正三年二月二十九日
- 一、天津警察廳工程科より照會の新道開通に關する件 大正三年二月二十九日
- 一、民會議員名簿登錄の件 大正三年二月二十九日
- 一、雜種課金條例中改正案 大正三年二月二十九日
- 一、諸車鑑札料條例中改正案 大正三年二月二十九日

- 一、大正三年度取得課金負担額に對する異議申立の件 大正三年三月一日
- 一、大正三年度營業課金負担等級に對する異議申立の件 大正三年三月一日
- 一、榮街開修工費特別會計條例案 大正三年三月一日
- 一、榮街開修工費特別會計歲入出豫算案 大正三年三月一日
- 一、大正三年度民團歲入出總豫算案 大正三年三月一日

回覽決議

- 一、新道開修工費特別會計條例案 大正三年三月五日
- 一、新道開修工費特別會計歲入出豫算案 大正三年三月十二日
- 一、豫備費支出認可申請の件 大正三年三月十二日
- 一、電車公司より照會に係る電柱建設の件 大正三年三月十二日
- 一、豫定道路に關する件 大正三年三月十二日
- 一、旭街人道に關する件 大正三年三月十八日
- 一、公會堂其他裝飾費及電燈費等に關する件 大正三年三月十八日
- 一、大正三年度民團歲入出追加豫算に關する件 大正三年三月十八日
- 一、新道開修工費特別會計歲入出豫算訂正の件 大正三年三月二十四日
- 一、行政委員事務分担の件 大正三年三月二十四日
- 一、土地埋立に關する件 大正三年三月二十四日
- 一、下水道設計に關する件 大正三年三月二十四日

(8)

(7)

臨時委員會

- 一、公會堂床音響止變更の件 大正三年四月十八日
- 一、民團事務所、公會堂、圖書館室內裝飾品選定 大正三年四月十八日
- 一、並に請負人決定の件 大正三年四月十八日
- 一、電燈內線及電燈裝飾請負の件 大正三年四月十八日
- 一、吏員及教員宿舍建築敷地の件 大正三年四月十八日
- 一、旭街人道改築に關する件 大正三年四月十八日
- 一、新規雜種課金負担額決定の件 大正三年四月十八日
- 一、吏員増俸の件 大正三年四月十八日
- 一、民團事務所、公會堂建築工費下渡方變更願の件 大正三年四月二十三日
- 一、中央氣象臺出張所より照會の露臺移轉の件 大正三年四月二十三日
- 一、公會堂其他裝飾品請負人決定の件 大正三年四月二十三日
- 一、民團事務所廊下仕様變更の件 大正三年四月二十三日
- 一、公會堂其他設計變更願の件 大正三年四月二十三日
- 一、公會堂舞台構造變更の件 大正三年四月二十三日
- 一、吏員及教員宿舍建築請負の件 大正三年四月二十三日

(13)

一、俱樂部貸契約の件	修正可決
一、團債に關する契約の件	修正可決
特別委員會	
一、公會堂落成式舉行に關する件	大正三年十一月九日
第十六回	可決
一、商業會議所貸賃料金の件	大正三年十一月九日
第十七回	可決
一、巡捕宿舍に關する件	大正三年十一月十九日
第十八回	可決
一、團債借入契約書案に關する件	大正三年十一月廿一日
第十八回	修正可決
一、新規營業課金負担等級額決定の件	可決
一、新規取得課金負担額決定の件	可決
一、圖書館書記採用に關する件	再議
一、大正二年度民團歲入出決算	委員附託
一、民團法施行規則改正に關する件	委員附託
一、小學校建築に關する件	委員附託
一、道路豫定地理立寄附願の件	可決
一、水道給水場移轉願の件	可決

(14)

特別委員會	大正三年十一月廿八日	承認
一、裝飾費其他豫算超過に關する件	大正三年十二月三日	承認
回覽決議		
一、圖書館囑託書記増俸の件	大正三年十二月十三日	可決
第十九回		
一、大正二年度民團歲入出決算		承認
一、公會堂貸與規則案		委員附託
一、告示掲載料金増額願の件		宿題
一、小學校教員増俸の件		可決
一、吏員増俸の件		再議
一、吏員及教員年末賞與の件		可決
一、巡捕年末賞與の件		可決
一、空閑書記特別手当支給の件	大正三年十二月十六日	可決
第二十回		
一、委員事務分担變更の件		可決
一、長峰前議長謝意表彰の件		可決
(四) 出納検査委員		可決

本年中に於ける民團出納検査委員左の如し

(15)

本年中新たに發布したる條例並に改正したる條例左の如し

雜種課金條例中左の通り改正す

一、第二條中 飲食店二等の次へ「三等銀五十仙」の一項を加ふ

二、第三條中 營業馬車「同洋銀十二弗」を「一ヶ月洋銀一弗」と改む

一、榮街開修工費特別會計條例

第一條 榮街開修工事(福島街、榮街角より支那街に至る延長三十間、幅五間)は特別會計とし大正三年度より起工す

第二條 開修工費は一時民團準備基金より繰替支出し漸次地方地主より徵收し準備基金へ回收す但道路敷地を寄附したる地主に對しては其價格に應じ

本條例は行政委員會より總領事に具申し既定條約に照らし支那當該官憲に知照し其決定を俟つて實施す

(16)

し本工費の負担額を減少又は免除することを得

第三條 工費の徵收は大正四年度より起り同八年度に至る五ヶ年間に毎年總工費の五分の一とす

第四條 工費徵收期、工費負担區域及其標準等に關しては壽街開修工費特別會計規則の規定を準用す

(一) 新道開修工費特別會計條例

第一條 新道開修工事(旭街より壽街を経て山口街に至る延長百二十一間、幅五間)は特別會計とし大正三年度より起工し同四年度に竣工の豫定とす

第二條 開修工費は一時民團剩餘金より支出し漸次地方地主より徵收し剩餘金へ回收す但道路敷地を寄附したる地主に對しては其價格に應じ本工費の負担額を減少又は免除することを得

第三條 工費の徵收は大正五年度より起り同十四年度に至る十ヶ年間に毎年總工費の十分の一とす

第四條 工費徵收期、工費負担區域及其標準等に關しては壽街開修工費特別會計規則の規定を準用す

附 則

本條例は行政委員會より總領事に具申し既定條約に照らし支那當該官憲に知照し其決定を俟つて實施す

(六) 消防手出火出場数
 本年中消防組員の出火出場数は十二回にして内一回は日本租界他の十一回は租界外の消防隊援なりとす其租界内出火一覽表左の如し

月 日	時 間	場 所	消防人員	巡捕人員	記 事
十二月十九日	自午前六時 至午后四時	山口街	十五名	七十六名	消防手 二名負傷
又消防手にして退職手当を支給したるもの二名あり左の如し					
八月廿六日退職(滿五年勤務)			手當銀十九弗	片岡 幸吉	
同			手當銀十六弗	北口新太郎	

(七) 巡捕増員と遺族扶助料の支給
 本民間巡捕数は居留地發展に伴ひ警備區域擴張の必要上年々増員し來りしか更に本年四月一日より十五名を増し總員八十三名となりたるも壽街交通銀行貸與巡捕二名は同行支那街に移轉の爲め本年八月三十一日限り解雇せるを以て現在八十一名となり又本年十月十四日巡捕自恩套なる者勤務中過つて進行中の電車に觸れ左足關節部に重傷を負ひ共立醫院に於て應急の手當を施したる上電車会社の厚意に依り佛租界北洋醫院に入院治療中同月二十四日死亡せるを以て行政委員會の決議に基き巡捕及消防組員給助規則第一條第一號表に依り遺族に祭料銀十弗及遺族扶助料銀五十弗を給與せり

(八) 支那消防隊への表彰
 天津警察廳消防隊は多年我租界内出火の際に迅速來援消防に盡せられ爲めに我同胞の生命財産の上に受けたる幸福多大なるものあるべく且つ我消防隊應援に對し種々便宜を與へ以て行動の敏捷を助くる等其功績尠からざるを以て本民間より右消防隊員一同に對し謝意を表せられたる旨警察署より申請ありたるを以て本年六月廿五日開會の行政委員會の決議に基き原田警察廳顧問と協議の上左記紀念品に感謝狀を添へ贈呈することとし七月一日午前十時民團より長峰議長及森、福山、西木、藤田、富成、沖田の各行政委員及田中、黑澤、向書記並に警察署より消防隊長、小川、石井、兩巡查部長等天津警察廳に楊廳長を訪問し長峰議長より消防隊に對する功勞表彰の意を述べ楊廳長より一同を代表して感謝の辭あり夫れより消防隊長其他一同へ紀念品を贈呈し尙楊廳長の案内にて消防隊員の演技を觀覽し種々款待を受け十二時退廳せり當日支那側にては原田顧問を始め天津各區警察署長及巡察隊長等列席せり

一、金制片硝子腕時計 一個 消防勤務督察長へ
 一、銀制片硝子腕時計 一個 消防隊副官二名へ
 一、置時計 十四個 消防隊長十四名へ
 一、麥酒 六兩 消防巡警百四十名へ
 一、煙草 二十兩

表 彰 狀
 貴天津警察廳消防隊は多年我が租界内出火の都度迅速來援消防に盡せられ租界在住者の財産保護に向ひ甚大の援助を與へられたるを多くし本居留民間は行政委員會の決議に依り茲に紀念品を贈呈し聊か感謝の意を表す
 大正三年七月一日 天津日本居留民間

(九) 公會堂落成と吏員宿舍及附屬家屋の建築
 昨年八月廿二日起工せる民間事務所、公會堂、圖書館及附屬家屋建築工事は昨年十二月より本年二月迄結氷期間一時工事を中止せしが本年三月より引續き工事を開始し五月十四日上棟式を舉行し爾來工事進捗本年八月二十一日即ち豫定期間に竣成を告げし結果請負人より硝子差額を民間に提供せしむることし圓滿なる解決を告ぐるに至りたるを以て九月十七日行政委員及特別委員並に技手立會の上受渡を了し同月廿四日旭街に在りし民間事務所を該新築家屋内に移轉し同廿八日より事務を開始するに至るも其後公會堂電燈取付及室内裝飾等豫定の設備を施すに時日を要し十月下旬始めて完成するに至れるを以て翌十一月十五日公會堂落成式を舉行せり當日の來賓は小幡代理公使及奈良駐屯軍司令官、松平總領事を始め官民無慮五百餘名に達し先づ田中理事代理の公會堂建築始末報告あり次で長峰行政委員會議長の式辭及松平總領事、小幡代理公使の祝詞並に北京日本人會長其他より寄せられたる祝電披露及奈良司令官より來賓を代表して一場の挨拶等あり後開宴最盛大に式を了せり又居留地第十八區の一部に吏員及教員宿舍として平家建九戸總建坪數二百三十二坪二合二勺八才を銀壹万四千四百弗にて三谷爲吉に請負方を命じ本年七月廿二日起工九月廿一日竣成せるを以て翌十月三日行政委員及特別委員並に技手立會検査の上受渡を了せり尙民間事務所門扉及倉庫、公園係員、俱樂部書記宿舍其他附屬工事を銀五千七百三十弗にて前記請負人に命じ十月廿五日より起工し民間事務所門扉を除くの外約八分通り竣工せるも結氷期に入りたるを以て來春解氷期を待ち更に工事に着手することとし十一月下旬工事を中止せり

(一〇) 豫定道路に關する具申
 本年三月十二日開會の行政委員會に於て租界内豫定道路區劃を佛租界及支那街との連絡上舊租界局時代に於て決定の通り變更せざることに決し且つ豫定道路開築に至る迄該道路敷地内に家屋建築を許可せざる方針にて其旨總領事館に具申したるに三月十九日付を以て同館より事情不得止場合を除く外豫定道路敷地内に家屋の新築を許さざることに取計ふべき旨回答ありたり

(一一) 租界内個人所有地埋立に關する具申
 租界内個人所有に係る土地埋立に關しては從來所有者に於て隨意に埋立を爲し甚しきは道路面より四五尺高に埋立を爲すものあり將來租界内排水上多大の影響を來すべく且つ隣接地所有者の迷惑を蒙むること又甚からざるを以て本民間行政委員會に於ては

大正三年民國事務報告

今後租界内個人所有の土地若くは水坑にして埋立を要するものは花園街道路面より高くも一尺を越ゆる可からざることを及低きも該路面と水平より下ることを得ずこの條件の許に總領事館の許可を受けしめ然る後埋立工事に着手せしむる方針にて本年四月二日付を以て總領事館に具申し同館より同月八日左記の通り告示せらるる

告示第七號

在天津帝國專管居留地内の土地埋立を爲さんと欲するものは豫め當館へ願出て差圖を俟て實行すべし

右告示す

大正三年四月八日

在天津

總領事 窪田 文三

本年十月十三日天津東馬路居住中村常三郎より壽街同人所有地に隣接の旭街より壽街に至る新道に面せる道路(舊胡同)の一部長さ十一間幅一間此坪數十六坪五合を家屋取壊の目的を以て拂下方本民團へ願出たる處該道路は本年八月新道開通の結果自然廢道となりたるものなれば行政委員會に於ては該地を一坪につき銀貳十弗にて同人に拂下ることに決し總領事の認可を得十一月六日拂下を許可せり

(一一) 不用道路拂下許可

(一二) 俱樂部及商業會議所貸料の決定

新築公會堂階下全部及附屬家屋三棟を日本俱樂部に貸與すること其貸與期間を本年十一月より向ふ十ヶ年間とし貸料一月銀壹百二十弗外に暖房使用料は實費を徴收することに決定し十一月一日付建物貸借契約書を取換はせり又商業會議所に對しては民團事務所の一室を無期限にて一ヶ月銀十五弗(暖房使用料及電燈料を含む)の貸料にて本年十月より貸與することに決定せり

(一三) 共立小學校補助費の増額

天津共立小學校補助費は去る明治四十五年四月より一ヶ年銀壹千八百六十弗に増額補助し來りたるも經費不足の故を以て本年度より更に銀三千弗に増額方願出たるに付行政委員會に於て審議の結果貳千四百弗に増額することに決し本年三月開會の通常民團の決議を経て同年四月より實行せり

(一四) 下水問題と技師の派遣

多年租界の懸案たりし下水問題に對しては行政委員會に於て種々審議の結果愈滿鐵技師の派遣を請ひ調査に着手することに決し南滿鐵道會社犬塚理事を通じて技師派遣方依頼したるに同社の快諾する處となり本年五月十五日土木主任技師加藤與之吉氏を派遣せられ直ちに實地調査に着手し大體の方針を定め歸社せられたるが近く設計並に豫算案等送付せらるる筈なり

(22)

(21)

(一六) 皇太后陛下崩御と事務休停

本年四月十一日皇太后陛下崩御被爲在たるに付同日長峰行政委員會議長には總領事館に至り居留民を代表して吊意を述べ尙五月二十四日より廿六日迄三日間御大葬儀に付民團事務を休停し敬吊の意を表せり

(一七) 山座公使及水野參事官葬儀參列

本年五月三十日水野參事官六月六日山座公使葬儀執行に付水野參事官葬儀には小貫行政委員、山座公使葬儀には長峯行政委員會議長等民團を代表參列し何れも花環を贈呈吊意を表せり

(一八) 水道消火栓の寄附

本年六月二十九日旭街梅利金店及老九章吳服店より自費を以て同店角に設置せる水道消火栓一ヶ所及屬附品一式此價額銀貳百四十四弗を本民團に寄附せり

(一九) 蘇南災害地慰問狀發送

本年一月十二日鹿兒嶋縣下櫻島嶼發難に對し行政委員會に於ては同月三十日付を以て居留民を代表し左記慰問狀を鹿兒嶋縣知事及市長宛發送せり

拜啓去る本月十二日貴縣下櫻島嶼大爆發を爲し全島一朝にして焦土荒涼の地と化し其餘鹿兒嶋島市に及びし家屋の崩壞人畜の死傷慘からず慘狀を極め而巳ならず罹災者の困苦窮乏の狀態實に名狀す可らざるもの有之候極當地居留民一般の衷心同情に堪へざる次第に有之候義には東北地方饑饉の悲報に接し今又斯かる慘事を耳に致し候事寔に遺憾至極に御座候尙新紙の報する處に依れば櫻島は今尚ほ噴烟鳴動煙まざる由憂慮に堪へず速かに鎮靜に歸せんことを遙かに祈居候と共に貴官の災禍當時より日夜罹災者救助に盡瘁被遊候事吾々同胞の深く感謝致し居候處に有之候何卒切角御自愛の上罹災者の爲め一層御努力の程奉希願候

右居留民を代表し御見舞申上度如斯御座候敬具

大正三年一月三十日

(24)

(23)

本年十二月前任歸朝せられたる前行政委員會議長長峰與一氏に對し行政委員會の決議に依り功勞表彰の印として紀念品を贈呈することとし十二月廿六日付左記感謝狀を添へ金盃壹個を贈呈せり

天津居留民團

行政委員會議長 長峰 與一

(二〇) 金盃贈呈

拜啓貴下去年明治四十四年三月本民團行政委員に御就任以來引續き行政委員會の議長として全般の事務を總理し各般諸多の問題に對し精査考最も懇切に本民團の爲めに盡瘁せられ殊に本民團創立以來未曾有の大業たる公會堂建築の如き貴下率先して之が畫策經營の任に膺り巍然たる堂宇成り外觀の美を備ふるに至りしは全く貴下の御指導宜しきを得たるに由る處にして其他重要なる諸問題錯綜事務頗る多端なる

の際過去四年間一意専心租界發展の爲めに貢獻せられたることを誠に感謝に堪へざる處に御座候今や貴下任を辭し歸朝被致候に付ては行政委員會は貴下多年の御功勞に對し聊か感謝の意を表し度別紙目録の通り紀念金壹一個贈呈致候間御受納被下候はゞ本懐之至りに不堪候

右本民團行政委員會を代表し謝辭申速度如斯御座候敬員
大正三年十二月廿六日

天津居留民團

行政委員會議長 森 辨 治 郎

長 峯 與 一 殿

(二一) 吏員の異動及現在員

本年八月一日大塚文四郎を土木助手として採用せる外他に異動なし現在員左の如し

- 書記 (理事代理) 田中 鑄太郎
- 書記 黒澤 兼次郎
- 書記 空 閑 實
- 技手 (土 木) 赤山 今朝治
- 備員 兒島 菊太郎
- 備員 (公園係) 内山 甚 吉
- 臨時備員 (建築技手) 永松 儀 六

臨時備員 (土木助手) 大塚文四郎
事務囑託 松村 利 男

外備支那人三名

二、財 務 部

(一) 出納検査

本年中に於ける民團出納検査は左の如く租界局に於て行はれ出納検査委員全部及議長會計主任並に關係書記出席し總て違法の出納及違算なきことを認めらる

第一回

出納期間 大正二年十月より十二月迄、二月廿六日検査

出席検査委員 清水章三郎、小島楠吉、松本茂

第二回

出納期間 大正三年一月より三月迄、八月廿二日検査

出席検査委員 小島楠吉、川村桃吾

第三回

出納期間 大正三年四月より六月迄、八月廿二日検査

出席検査委員 小島楠吉、川村桃吾

第四回

出納期間 大正三年七月より九月迄、十一月廿七日検査

出席検査委員 小島楠吉、川村桃吾

(二) 豫備費支出

水道水の需要激増し大正二年度水道費中水代に不足を生じたるを又猩紅熱患者發生の爲め傳染病室開設期間長かりしと墓地周圍煉瓦塀築造と共に門扉を新設したる結果臨時部衛生費中傳染病豫防費並に墓地築造費に不足を生じたるを以て本年三月十三日總領事館へ左の通り大正二年度豫算中豫備費支出の申請を爲し即日認可を受く

大正二年度

一 銀八百弗也

内 水道費補充額

一 銀八百弗也

内 臨時部衛生費補充額

一 銀貳百七拾七弗八拾四仙也

内 傳染病豫防費

銀貳百五拾六弗也

内 墓地築造費

銀貳拾壹弗八拾四仙也

内 豫備費支出額

計銀壹千零七拾七弗八拾四仙也

(三) 電車公司の配當と營業人力車賃料不足額の受領

電車布設契約に依り日本租界が電車公司より受領すべき本年中の配當金は銀壹千八百四十七弗六十一仙なりしも昨大正二年十一月より本年十月迄一ヶ年間の營業人力車賃料料補足額銀貳千零貳弗にして補足金が配當金より多額なりしを以て配當金の支拂を受けず其配當金に關する計算に就き電車公司の來信左の如し

拜呈

千九百十七年五月廿四日締結致候契約第二十三及廿四條に從ひ下名は茲に昨千九百十四年中電車收入の總計四拾九萬八千貳百六拾參弗參拾九仙に相達し候義を御通知申上候右連轉延長距離の合計は壹萬貳千參百七米突二四〇に有之其内の日本租界に屬するもの壹千三百三米突九〇〇に有之候間貴局へ差上べき實納金は壹千八百四拾七弗六拾壹仙と相成る計算に御座候

前記の金額は營業人力車賃料不足料として本年中當方より御支拂申上候金額中に包含有之候義を申述候

右に對し必要と御認相成候はゞ何時にても諸帳簿御檢閱相成度此段申添候

電車公司支配人代理

(四) 慈善基金の支出

本年六月原籍京都市北桑田郡平民貧困者橋本トミ死亡火葬費一式銀拾參弗五拾五仙及原籍山口縣都濃郡南山町士族行旅死亡者西村保熊死體處置料として銀拾參弗八拾仙、朝鮮人張漢範外二名歸國旅費として銀拾五弗並に七月原籍奈良縣磯城郡耳成村大字内膳平民太田乙松に對し歸國旅費銀貳拾九弗六拾九仙及原籍長崎縣南高來郡北有馬村字

(34)

科 目	新道開修工費特別會計歳入出豫算		備 考
	歳 入	歳 出	
一時繰替金	二、三九六四〇		準備基金ヨリ一時繰替
科 目	歳 入	歳 出	
新道開修費	四、八九七五〇	四、八九七五〇	旭街ヨリ壽街ヲ經テ山口街ニ至ル 延長百二十一間、幅五間ノ開修費 銀九千四百二十七弗五十仙ノ内大 正三年度支出額
土地買收費	四、八九七五〇	四、八九七五〇	民地三百二十六坪五合買收費一坪 ニ付十五弗
計	四、八九七五〇	四、八九七五〇	

(33)

科 目	常設興行		備 考
	歳 入	歳 出	
計	三、二〇一	三、二〇一	
等 級			
六 等	三	一	
四 等	二	一	
合 計	五	二	
一 等	二	一	
二 等	二	一	
三 等	二	一	
四 等	二	一	
合 計	八	四	
種 別			
甲 種	三	一	
乙 種	二	一	
合 計	五	二	

(36)

科 目	大正三年度居留民團歳入出豫算表		印ハ増▲印ハ減
	本年度豫算額	前年度豫算額	
第一 款 居留民團課金	二〇、〇九一、四二二	一四、〇二六、〇〇〇	六、〇六五、四二二
一、取得課金	六、七八六、四二二	五、六三六、〇〇〇	一、一五〇、四二二
二、營業課金	一三、三〇五、〇〇〇	八、三九〇、〇〇〇	四、九一五、〇〇〇
第二 款 雜種課金	一五、九七二、〇〇〇	一四、四六六、〇〇〇	一、五〇六、〇〇〇
一、藥 材	一〇、四四六、〇〇〇	九、五八二、〇〇〇	八六四、〇〇〇
二、酌 給	八〇四、〇〇〇	六〇〇、〇〇〇	二〇四、〇〇〇
三、旅 館	三、四八〇、〇〇〇	二、八八〇、〇〇〇	六〇〇、〇〇〇
四、料 店	一、九六八、〇〇〇	一、九三二、〇〇〇	三六、〇〇〇
五、飲 店	二、五二〇、〇〇〇	一、四四〇、〇〇〇	一、〇八〇、〇〇〇
六、湯 屋	四、八〇〇、〇〇〇	四、八〇〇、〇〇〇	〇
七、理 髮	一、五六〇、〇〇〇	一、五六〇、〇〇〇	〇
八、遊 戲	一、二〇〇、〇〇〇	一、二〇〇、〇〇〇	〇
九、遊 藝	六、〇〇〇、〇〇〇	六、〇〇〇、〇〇〇	〇
十、按 摩	六、〇〇〇、〇〇〇	六、〇〇〇、〇〇〇	〇
計	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇

(35)

科 目	大正三年度居留民團歳入出豫算		備 考
	歳 入	歳 出	
計	二、三九六四〇	二、三九六四〇	
榮街開修費	二、三九六四〇	二、三九六四〇	福島街榮街角ヨリ支那街ニ通スル 新道長三十間、幅五間ノ開修費
土地買收費	二、二五〇、〇〇〇	二、二五〇、〇〇〇	民地百五十坪、一坪ニ付十五弗
埋立費	一、四六四、〇〇〇	一、四六四、〇〇〇	土百二十二方、一方ニ付一弗二十 仙
計	二、三九六四〇	二、三九六四〇	
入			
一 銀拾萬四千零六弗零八仙也			經常部豫算高
一 銀壹萬三千五百八拾弗也			臨時部豫算高
合計拾壹萬七千五百八拾六弗零八仙也			
出			
一 銀九萬貳千四百貳拾四弗拾仙也			經常部豫算高
一 銀貳萬五千壹百六拾壹弗九拾八仙也			臨時部豫算高
合計銀拾壹萬七千五百八拾六弗零八仙也			

(38)

計	四、雜收	三、大和街撤水費	二、貸家料	一、請願巡捕費	第六款 雜收	第五款 授業料	第四款 預金利息	第三款 生財收入	十九、行商	十八、地小	十七、中車	十六、大車	十五、自動自轉車	十三、齒技置屋
二〇四、〇〇六、〇八	九〇〇〇	六〇〇〇	八四〇〇	三六〇〇	一、三五〇〇	一、七〇〇〇	一、五〇〇〇	四、四四〇〇	一、五〇〇〇	一、五〇〇〇	二、三四〇〇	七、〇〇〇〇	二、二〇〇〇	八一六、〇〇〇
八八、八四七、一六	一五〇〇〇	二四〇〇〇	三六〇〇〇	七五〇〇〇	一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	一、三〇〇〇	三、八四〇〇	一、五〇〇〇	二、〇〇〇〇	六、〇〇〇〇	六、〇〇〇〇	五八八、〇〇〇	
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
一五、一五八、九二	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	二、〇〇〇	四、〇五六〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	一、〇〇〇〇	三、〇〇〇〇	二二八、〇〇〇	

(37)

十一、齒技置屋	十二、常設興行	十三、檢時興行	十四、臨時興行	第三款 使用料	一、繫留料	二、貨物陸上料	三、民船料	四、舢板船料	五、水道料	六、土地料	七、市場料	八、墓地料	九、營業人力車	十、營業馬車	十一、自用馬車	十二、自用馬車
八一六、〇〇〇	六六〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	六四、七四二、六六	二五、〇〇〇	六〇、〇〇〇	二二〇、〇〇〇	七〇、〇〇〇	二一、八二八、九〇	五九、七六〇	七二〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	二五、〇九五、〇〇	六〇、〇〇〇	二、二〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇
五八八、〇〇〇	六六〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	五八、四七五、一六	二五、〇〇〇	六〇、〇〇〇	一九五、〇〇〇	七〇、〇〇〇	二一、一三七、四〇	五九、七六〇	六四八、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	二五、〇九五、〇〇	六〇、〇〇〇	二、一〇〇、〇〇〇	二、四〇〇、〇〇〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二二八、〇〇〇	〇	〇	〇	六二、六七、五〇	〇	〇	二五、〇〇〇	〇	六九一、五〇	〇	七二、〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇

(40)

第十、雜直	十一、宿直	第一款 會議	二、印刷	三、錐刷	第三款 土木	一、俸給	二、消耗品	三、器具	四、修水道	五、撤燈	六、點水	七、植樹	八、碼頭	九、雜水	第四款 水道
一九三、六〇〇	一八二、五〇〇	一六〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇	二五、五九六、七七	一、一八二、〇〇	一、〇一七、六二	八四、〇〇〇	一四、五五三、〇〇	三、二二八、〇〇	四、八九六、三二	四四、五〇〇	一〇、〇〇〇	一八〇、八三	一八、五七一、七〇
一六〇、六〇〇	一八二、五〇〇	一六〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇	二四、二七二、八五	一、一八二、〇〇	一、〇一七、六二	八四、〇〇〇	一三、四九〇、四〇	三、二二八、〇〇	四、七一九、〇〇	三六、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一八〇、八三	一六、一五八、四〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
三三、〇〇〇	〇	〇	〇	〇	一、三三三、九二	〇	〇	〇	一、〇六二、六〇	〇	一、七七、三二	〇	〇	〇	二、四一三、三〇

(39)

第一款 前年度繰越金	計	第一款 事務所費	二、備給及手當	三、消耗品	四、修繕	五、印刷	六、通信	七、旅費	八、公費	九、家屋借料	臨時部	前年度豫算額	比較增減
一三、五八〇、〇〇	一、一七、五八六、〇八	一三、七九一、三五	一〇、二二〇、〇〇	二八八、二五	四三九、八〇	一〇〇、〇〇〇	二八八、〇〇	八五、二〇	三三〇、〇〇	二四〇、〇〇	本年豫算額	一、一八六、二三五	一九二、〇〇〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	前年度豫算額	八、〇三八、〇〇	二、一八二、〇〇〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	本年豫算額	三、五三、八〇	二、二六、〇〇〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	本年豫算額	八六、〇〇	一四、〇〇〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	本年豫算額	二六四、〇〇	二四、〇〇〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	本年豫算額	五〇、〇〇	二四、〇〇〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	本年豫算額	二四〇、〇〇	三〇〇、〇〇〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	本年豫算額	二、三六四、〇〇	九六〇、〇〇〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	本年豫算額	八八、八四七、一六	二八、七三三、九二

(42)

(41)

第十三、研究會費	四二、〇〇〇	四二、〇〇〇	四二、〇〇〇	〇	〇
十四、家屋借料費	三〇〇、〇〇〇	七二〇、〇〇〇	四二〇、〇〇〇	〇	〇
十五、雜費	五二二、〇〇〇	二八〇、〇〇〇	二四一、八二〇	〇	〇
十六、教育補助費	三、一七一、五五〇	一、八六〇、〇〇〇	一八七五、四五〇	〇	〇
第六款 衛生	二、三三七、〇〇〇	四、〇四七、〇〇〇	二一九、〇〇〇	〇	〇
一、被服費	三〇、〇〇〇	二七、五〇〇	三、三〇〇	〇	〇
二、藥品費	九〇、〇〇〇	七二、〇〇〇	一八、〇〇〇	〇	〇
三、器具費	一一八、〇〇〇	一一五、〇〇〇	三、〇〇〇	〇	〇
四、藥品費	二五八、〇〇〇	一五八、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	〇	〇
五、野犬捕殺費	一九三、七五〇	二二二、五〇〇	一八、七五〇	〇	〇
六、市捕費	五四、〇〇〇	五四、〇〇〇	〇	〇	〇
七、雜費	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	〇	〇	〇
第八款 警備	一五、九五〇、〇〇〇	一、二〇〇、〇〇〇	一、二〇〇、〇〇〇	〇	〇
一、巡捕被服費	一〇、一四二、一八〇	一二、〇六〇、九三〇	三、八八九、一一〇	〇	〇
二、巡捕被服費	三、五二八、八〇〇	八、二八九、三三〇	一、八五二、八五〇	〇	〇
第七款 警備	〇	二、〇九四、〇〇〇	一、四三四、八〇〇	〇	〇

(44)

(43)

第一、植樹費	一、一七三、〇〇〇	一、一七三、〇〇〇	〇	〇	〇
二、肥料費	四三〇、〇〇〇	二九八、〇〇〇	一三二、〇〇〇	〇	〇
三、器具費	五五〇、〇〇〇	五五〇、〇〇〇	〇	〇	〇
四、消耗品費	六五三、三五〇	一八三、五〇〇	四七〇、〇〇〇	〇	〇
五、點綴費	四一、七〇〇	四一、七〇〇	〇	〇	〇
六、用水費	一六四、〇〇〇	一三七、〇〇〇	二七、〇〇〇	〇	〇
七、點綴費	一九一、五六〇	一九四、〇〇〇	二、四四〇	〇	〇
八、雜費	三一五、〇〇〇	三一五、〇〇〇	〇	〇	〇
九、雜費	一五〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	〇	〇	〇
第十款 雜支	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	〇	〇	〇
計	二、七二三、六一〇	三、三八二、二一〇	六六八、六〇〇	〇	〇
臨時部	九二、四二四、一〇〇	八四、八九五、三七七	七、五二八、七二三	〇	〇
本年度豫算額	七、九一一、九八八	七、九一一、九八八	〇	〇	〇
前年度豫算額	三、五八五、一八〇	三、五八五、一八〇	〇	〇	〇
比較增減	〇	〇	四、三二六、八〇八	〇	〇

(45)

二、小學校建築費	三、〇七六、八〇	〇	三、〇七六、八〇
三、公園溫室及 使所建築費	一、二五〇、〇〇	〇	一、二五〇、〇〇
第二款 臨時衛生費	一、〇〇〇、〇〇	二、一九〇、〇〇	一、一九〇、〇〇
一、傳染病豫防費	一、〇〇〇、〇〇	一、〇〇〇、〇〇	一、〇〇〇、〇〇
二、墓地築造費	一、〇〇〇、〇〇	一、一九〇、〇〇	一、一九〇、〇〇
第三款 補助及寄附	四、七五〇、〇〇	〇	四、七五〇、〇〇
一、補助費	四、七五〇、〇〇	〇	四、七五〇、〇〇
第四款 團債償還費	四、〇〇〇、〇〇	〇	四、〇〇〇、〇〇
一、團債利息	四、〇〇〇、〇〇	〇	四、〇〇〇、〇〇
第二款 教育費	六二一、七九	六二一、七九	六二一、七九
一、修繕費	七、五〇〇、〇〇	〇	七、五〇〇、〇〇
第五款 民團事務所 公會堂設備費	二四、一六一、九八	三、九五二、七九	二一、二一〇、一九
合計	一一七、五八六、〇八	八八、八四七、一六	二八、七三八、九二

(46)

(九) 大正三年十二月末現在居留民團財產表

當座預金	一六、四一三、五五	金	額
慈善基金預金	三、五九七、八一	金	
教育寄付基金預金	一、〇三七、四〇	金	
仙波少將紀念教育基金預金	三六八、五〇	金	
公園基金預金	一、四三	金	
準備基金預金	四九三、三三	金	
現計	五七〇、五五	金	
合計	二二、四八二、五七	金	
種目	坪數	價	額
共同墓地	五、七三九、三一	二、八六三、六〇五	
天津小學校敷地	一、六七四、三二	一、三七二、六一五	
舊本願寺布敷敷地	五九八、四〇	一、八〇〇、〇〇〇	
合計	八、〇二〇、〇三	六、〇三六、二二〇	

(47)

天津小學校校舍及宿舍	二、三七、一八一	坪數	一六、五七七、八一
同校門及屏其他附屬建物	四、五〇〇〇	坪數	三、一九八、六八
同校屋內操場	二〇、二八〇	坪數	二、一五五、〇〇
傳染病室附屬舍	一七、〇六〇	坪數	四二一、六〇
消防器具置場	一五、〇〇〇	坪數	六八〇、〇九
スチールローラ置場	〇	坪數	三二〇、〇〇
大和公園門扉及附屬建物	〇	坪數	八、九五〇、〇〇
榮市場	〇	坪數	三、二七七、〇〇
伊集院紀念音樂堂	〇	坪數	五、七三五、〇〇
傳染病室病理研究所	〇	坪數	三、二二八、八六
汚水棄却場	〇	坪數	三七〇、〇〇
墓他門扉及周圍煉瓦屏	〇	坪數	三五七、七〇
合計	四六、〇九〇、七四	坪數	九五九、〇〇

(48)

口徑六吋鐵管	四、三〇〇、〇〇	延長	七、四四八、四一
同 四吋鐵管	一三、八八六、〇〇	延長	一四、二七九、三二
同 二吋鐵管	二、二六二、〇〇	延長	一、三七六、二六
合計	二〇、四四八、〇〇	延長	一、六七八、五〇
事務所備品	七九	員數	二四、七八二、四九
會議室備品	一八	員數	〇
土木器具	三八	員數	一、九四九、四六
水道器具	三八	員數	三七六、一七
小學校備品	一、〇三八	員數	一四、八四七、五九
衛生器具	一六	員數	二、〇二一、〇五
巡捕備品	一六	員數	五、六二四、五〇
巡捕備品	一六	員數	六、六一八、〇〇
合計	一六	員數	三、三九二、一四

清防器具	二五	二二三	六、五〇一、九九
圖書館圖書	一一	三、四〇六	三、二九六、八八
同備品	四	一〇九	三〇八、一〇
傳染病室備品	一四二	六四四	二、二四二、〇九
碼頭器具	一	九	一七、一〇〇
公園器具	二六	二二七	二、五五〇、一三
合計	一、四三四	九、四一五	四三、八五九、五〇

總計銀拾四萬三千二百五十一弗五十一仙
民國財產

本年三月開會の通常民會の決議を経たる小學校建築地即ち居留地十八區の一部面積貳千五百六拾參坪五合壹勺の埋立工事は競争入札に付したる結果最低額參千零參拾弗にて支那人魏鴻賓に落札せるを以て同人に請負方を命じ本年四月八日より埋立工事に着手し翌五月廿三日竣成検査の上受渡を了せり

夏期講習員派遣
天津尋常高等小學校訓導正村幸吉を例年の通り請假歸朝の序を以て本年八月一日より

同十八日迄東京帝國教育會開設の夏期講習會に派遣し同教育會長辻男爵より講習修了の證明を得翌九月二日歸任せり其講習科目及担任講師等左の如し

一、日本歴史 文部省圖書官 重田 定一
二、國語科 東京外國語學校教授 金澤庄三郎
三、教育科 東京高等師範學校教授 兼文部省圖書官 森岡 常藏
四、修身科 東京高等師範學校教授 吉田 靜致
五、算術科 文部省督學官 生駒 萬治
六、生物科 東京高等師範學校教授 兼理學博士 山内 繁雄

(ハ) 遙拜式と休業
本年五月二十四日昭憲皇太后陛下 御大葬儀に付き天津尋常高等小學校職員及生徒一同は同日午後四時同校運動場に設けられたる祭壇前に參集遙拜式を舉行し尙ほ三日間休業せり

(ニ) 寄 附
本年七月廿八日永戸絹子より天津尋常高等小學校へ發電機壹個及掛時計貳個(價格壹百弗)及西木茂吉氏より植木七拾餘鉢を寄附せらる

ホ) 小學校職員研究會
本年中に於ける職員研究會として左の通り授業術研究會四回及研究報告會七回開會せり

授業術研究會
一月十五日 尋常二年級方批評授業 津村訓導
同 二十日 尋常五六年理科批評授業 本田訓導
同 二十六日 尋常三年修身批評授業 正村訓導
三月 二日 尋常四年讀方批評授業 井上訓導

研究報告會
一月 十日 尋常四年讀方教授に就き 井上訓導
同 二十日 修身の連絡に就き研究報告 田川訓導
同 二十二日 天津に於て殊に注意すべき徳日と其程度に關する研究報告 正村訓導
同 二十九日 化學實驗法に就き研究報告 本田訓導
二月 二十六日 尋常二年級方教授に就き研究報告 津村訓導
同 二十六日 圖書教授法に就き研究報告 井上訓導
同 十九日 天津に於ては如何なる教材を綴方に選擇すべきかに就き研究報告 田川訓導

ハ) 諸 會
本年中父兄會及學藝會並に運動會等左記の通り開催し二月七日開催の父兄會には特に田村軍病院院長臨席天津に於ける本邦兒童の死亡率及兒童保護に關する講話あり又六月六日開催の父兄會に於ては鈴木校長より學校と家庭との連絡及天津に於ける教育上の得失點並に正村訓導の訓育に關する講話を爲したり尙春季運動會は御大喪中に付中止せり

父兄會 二月七日
學藝會 六月六日
運動會 十一月七日

職 員
訓導兼校長 鈴木 傳一 部
井上 米 二

天津尋常高等小學校訓導(專科正教員勤務)松田家守は病氣の爲め本年二月二十四日休職を命ぜられたる外異動なし現在員左の如し

(54)

本年一月二十四日圖書館規則第七條に據り前年囑託せる左記三名へ引續き圖書館評議員を囑託せり

吉田 東作 牧野 田彦松 鈴木 傳一郎

舊日本俱樂部内にありし日本圖書館は新築家屋落成したるにつき本年十月二十八日移轉し書籍整理の爲め一時休館し翌十一月八日より開館せり

本年購入及寄附せられたる書籍雜誌左の如し

●購入書籍

一、日露戰史 六冊 付圖 一、通俗日本全史 十一冊
 一、ベルグリン 一冊 一、ニイチェ研究 一冊
 一、物質と記憶

四學年〔男〕一九 五學年〔男〕一五 六學年〔男〕一六
 一學年〔女〕九 二學年〔女〕四
 一學年〔男〕九 二學年〔男〕五
 (一) 評議 員
 (二) 日本圖書館

(53)

本年三月二十二日天津尋常高等小學校第十回卒業及修業証書授與式を行ひ高等科卒業生五名、尋常科卒業生十七名を出せり又本年中に於ける入退學生徒數は入學生壹百名、退學生五十三名にして十二月末現在生徒數二百零九名(前年末に比し四十七名増加)なり其級別左の如し

●尋常科 (百八十二名)

一學年〔男〕二五 二學年〔男〕一七 三學年〔男〕一五
 〔女〕二六 〔女〕二二 〔女〕一九

愛知縣師範學校卒業生 田川 寅之助
 栃木縣師範學校卒業生 正 村 幸 吉
 山口縣師範學校卒業生 山本 田 豊 記
 熊本縣師範學校卒業生 熊本 津 村 樹
 福岡縣女子師範學校卒業生 福岡 津 村 樹
 裁縫女禮式囑託教員 田 添 ト ミ
 卒業生及生徒數

(56)

一、清朝全史 二冊
 一、日本經濟叢書 七冊
 一、泰西名著文庫 庫庫榮の市上 一冊
 一、同ブルターク 二冊
 一、英雄傳 一冊
 一、諸葛亮 一冊
 一、婦人文庫 一冊
 一、通俗明治太平記 三冊
 一、支那貿易案内 一冊
 一、大 陽 雜誌 一冊
 一、外交時報 十四冊
 一、國家學會雜誌 二十五冊
 一、法律新聞 十二冊
 一、東洋經濟新報 七十四冊
 一、新 人 三十六冊
 一、教育界 十二冊

○購入書籍

一、現代蒙古 一冊
 一、第七回世界年鑑 一冊
 一、衰史 上中 二冊
 一、同戰爭と平和 一冊
 一、艦隊院長兵衛 一冊
 一、昭憲皇太后御一代記 一冊
 一、商法正義 一冊
 一、經濟大辭書 六 一冊
 一、日本及日本人 二十五冊
 一、中央公論 十三冊
 一、法學協會雜誌 十一冊
 一、實業之日本 二十六冊
 一、東京經濟雜誌 五十一冊
 一、精神界 十二冊
 一、丁西倫講演集 十二冊

(55)

一、オイケンノ哲學 一冊
 一、アンナ、カレニナ上下 二冊
 一、新譯源氏物語 四冊
 一、ユビクテラ遺訓 一冊
 一、高杉晋作 一冊
 一、大正三年國民年鑑 一冊
 一、閩南遊記 一冊
 一、ハスカル感想錄 一冊
 一、西洋哲學史 一冊
 一、眞草行字鑑 一冊
 一、努力論 一冊
 一、西郷南洲 一冊
 一、後の南洲 一冊
 一、支那及支那人 一冊
 一、漫遊人國記 一冊
 一、漢和故事成語海 一冊
 一、支那論 一冊

一、ベルグリン創造的進化 一冊
 一、五大哲學者 一冊
 一、ラロシフコー寸鐵 一冊
 一、ペーコン論說集 一冊
 一、滿蒙處分論 一冊
 一、支那觀 一冊
 一、財政十年 一冊
 一、國史大辭典 一冊
 一、六朝書道論 一冊
 一、世界風俗大觀 一冊
 一、快傑傳 一冊
 一、同外篇 一冊
 一、支那人名辭書 一冊
 一、大思想家人生觀 一冊
 一、國語學書目解題 一冊
 一、支那政治地理誌上 一冊
 一、處世大觀 一冊

(58)

同	支那語大辭典	一冊
同	支那語教科書 發音篇	一冊
同	支那語教科書	一冊
同	支那語獨案內	一冊
同	支那語獨習全書	一冊
同	日語全壁	一冊
同	北京官話清國風俗會話篇	一冊
同	京話萃選	一冊
同	續日清語入門	一冊
同	北京官話常用例	一冊
同	華語分類摘要	一冊
同	官話應酬新篇	一冊
同	官話北京事情	一冊
同	新編談論新集	一冊
同	言文對照北京紀聞	一冊
同	婦女談論新集	一冊
同	官話指南	一冊
同	士商業談便覽 上下	二冊

(57)

同	一、文學世界	十三冊	
同	一、文章世界	十六冊	
同	一、女學世界	十六冊	
同	一、文藝俱樂部	十六冊	
同	一、成功	十二冊	
同	一、演藝書報	二冊	
同	一、演藝俱樂部	改題	
同	一、活支那實業	十冊	
同	一、英文雜誌ワイド	十八冊	
同	一、ウオルト	講習録	
同	一、大陸	十五冊	
同	寄附者	冊數	
同	木梨幹	英國より祖國へ	一冊
同	田中慶太郎	吾輩ノ見タル亞米利加	一冊
同	支那聲字彙	一冊	
同	日華字典	一冊	
同	日漢字彙	一冊	
同	支那語字彙	一冊	
同	漢和發音字典	一冊	

(60)

同	支那笑談集	一冊
同	燕山外史註釋	一冊
同	西霜歌劇	一冊
同	元聖武親征錄	一冊
同	元史譯文證補	一冊
同	四書現存書目	一冊
同	韓語正規	一冊
同	楊牛全集第一卷	一冊
同	その春の頃	一冊
同	鶴籠	一冊
同	決闘生活の河	一冊
同	理化講話	一冊
同	室町時代小説集	一冊
同	露分衣	一冊
同	自我生活と文學	一冊
同	山水無盡藏	一冊
同	文藝復興期思潮講話	一冊
同	ブラクローリスム講話	一冊
同	日本戲曲史講話	一冊
同	マルイン進化説講話	一冊

(59)

同	東語士商談便覽	一冊
同	華語跬步	一冊
同	華語跬步總譯	一冊
同	官話指南總譯	一冊
同	華言問答	一冊
同	談論新篇	一冊
同	談論新篇譯本	一冊
同	支那語新會話篇	一冊
同	支那語新會話篇	一冊
同	支那語文典	一冊
同	動字分類大全	一冊
同	支那語動字用法	一冊
同	支那語動字形容詞用法	一冊
同	支那語助辭用法	一冊
同	清國商業用文	一冊
同	清國最新書翰文	一冊
同	支那時文教科書	一冊
同	同 譯茶	一冊
同	北京官話古今奇觀	一冊

(62)

七	月	五六	三一	八七
八	月	四四	五一	九五
九	月	六〇	一四	七四
十	月	二九	一八	四七
十一	月	一三一	一四	一四五
十二	月	一五七	三一	一八八
計		六七九	三〇三	九八二

四、土木部

(一) 旭街入道改築工事の竣工

前年報告の通り次木民蔵請負に係る旭街入道改築工事は再三手直し其他修繕工事を爲さしめたるも尙仕様書に適合せざる箇所多く到底本民間仕様書の通り完全なる工事を爲す能はざるものと認められたるを以て行政委員会に於て本年四月二十一日請負人と合意の上工事請負規則に據り保留したる契約保証金並に請負金支拂額合計銀四千四百九拾七弗四拾八仙を本民間に提供せしめ民間は該提供金を以て直營にて之が改築工事を施すことに決定したり依て直ちに工事に着手すべき筈なりしも時恰も雨季に入りたる且つセメント瓦調製に時日を要し漸く本年八月十一日より赤山技手監督の下に工事に着手し十一月九日竣工を告ぐるに至れり

(61)

月次	一月	二月	三月	四月	五月	六月
館内	一六	四五	二〇	二二	五二	四七
館外	七	一六	二二	二二	四〇	四七
計	二三	六一	四二	四四	九二	九四

(二) 大正三年中圖書閲覧人員表

外務省通商局移民調査報告書 一冊
 天津商船會社支店 大阪商船會社英文案内 二冊
 駐屯軍司令部 支那經濟資源概覽圖表 一冊
 外務省 通商公報 百〇一冊
 東洋協會 東洋時報 十二冊
 天津俱樂部 鳴 十冊
 求道發行所 求道 九冊

(三) 謡曲文學講話 一冊
 (四) ベルグソン哲學講話 一冊
 (五) 歐洲近代文學思潮 一冊
 (六) 歐洲近代批評講話 一冊

(64)

四坪四合	銀六拾六弗	王蘭舫
七拾五坪九合	銀壹千壹百叁拾八弗五拾仙	胡承蔭
貳坪壹合	銀叁拾壹弗五拾仙	王瑞林
計參百貳拾六坪五合	銀四千八百九拾七弗五拾仙	

(三) 榮街道路の延長

天津警察廳工程科より交渉に係る福島街(榮街角)より支那街に通ずる新道即ち榮街延長道路は該敷地所有者李明啓外參名より急速開通の希望を以て各所有地を本民間へ寄附したる旨願出たるに付右願意を容れ本年十一月六日家屋を取毀し翌七日より埋立工事に着手し同十一月終了せり尙寄附者中孔鳳祥所有地七拾五坪に對しては貧困の故を以て特に壹坪開修工費特別に支給し且つ寄附者に對しては行政委員の決議に基き榮街開修工費特別に依り工費負担を免除することに決定せり其工費計算左の如し

一 銀叁百七拾五弗也 孔鳳祥支給立退料
 一 銀壹百七拾五弗也 埋立費
 計銀五百五拾弗也 總工費

(四) 榮街及宮島街道築造と下水溝の新設

本年度豫算に計上せる榮街道路の一部(宮島街、福島街間長八百拾尺、幅四拾貳尺)及宮島街道の一部(花園街、芙蓉街間長四百參拾貳尺、幅參拾尺)築造工事は之を公

(63)

買收坪數	買收金額	地主
壹百壹坪五合	銀壹千五百五拾貳弗五拾仙	康起榮
五拾四坪	銀八百拾弗	張恩承
四拾六坪壹合	銀六百九拾壹弗五拾仙	胡承蔭
七坪參合	銀壹百零九弗五拾仙	張玉卿
拾四坪貳合	銀貳百拾參弗	候有功
九坪七合	銀壹百四拾五弗五拾仙	劉恩榮
拾壹坪參合	銀壹百六拾九弗五拾仙	玉壁臣

(二) 新道一部開通

大正三年度より大正四年度に至る二ヶ年間の繼續事業たる旭街宜威洋行向角より壽街を経て山口街に通ずる延長壹百貳拾壹間幅五間の新道開修の内大正三年度に屬する敷地(民地參百貳拾六坪五合)買收に關しては本年四月十五日總領事館に申請し偏に其幹旋に依つて交渉を纏め敷地買收價格を議に開通せる壽街及新道と同様壹坪に付銀拾五弗(家屋移轉費共)とし移轉期を六月二十日より七月十日迄と定め七月十一日より家屋取毀しに着手し同二十日終了爰に一部開通を見るに至れり其買收坪數及買收額並に地主等を擧ぐれば左の如し

(八) 街燈燭光變更と増設
旭街々燈參拾九燈の内各街角のみ特に五十燭光を點し居りたるも本年五月一日より全部五十燭光に變更せり又四月八日より浪花街延長道路(榮街、芙蓉街間)に二十燭光燈花園街、芙蓉街間新道(胡同)に同參燈及十月一日より芙蓉街(福島街、宮島街間)に同拾燈を増設せり各街の燈數を擧ぐれば左の如し

山口街	二十二燈(内五十燭光五燈)	壽街	二十八燈(内五十燭光六燈)
旭街	三十九燈(五十燭光)	曙街	十二燈
常盤街	十二燈	榮街	十四燈(内五十燭光二燈)
秋山街	十八燈(内五十燭光二燈)	松島街	十八燈(内五十燭光二燈)
宮島街	十六燈(内五十燭光一燈)	福島街	三十一燈(内五十燭光一燈)
花園街	十四燈	芙蓉街	十四燈
蓬萊街	二燈	關口大街	九燈
浪花街	三燈	新道(旭街、大和街間)	六燈
胡同	(花園街、芙蓉街間)三燈		
	計貳百六拾壹燈		

(九) 街樹の補植
本年四月九日より同二十四日迄に各街路に補植せし樹木數は壹百七十本にして各街に於ける補植數及種類並に現在數を擧ぐれば左の如し

入札に附したるに最低額銀貳千零五拾弗にて宮島興作に落札せるを以て同人に請負方を命じ宮島街道路築造工事は本年八月拾五日より着手し翌九月五日竣工し芙蓉街道路築造工事は九月十日より着手し十二月五日竣工を告ぐるに至れり
又芙蓉街下水溝延長壹千七百拾六尺(平均深さ壹尺四寸幅壹尺)新設工事も同様公入札に附したるに最低額銀壹千貳百八拾八弗拾六仙にて前記請負人宮島興作に落札し本年十一月十八日より工事に着手し十二月五日竣工せり

(五) 道路修繕
松島街道路(長壹千五百九拾尺、幅貳拾七尺)の修繕工事は公入札の結果最低額銀貳千五百貳拾弗にて支那人孫聯元に落札せるを以て同人に請負方を命じ本年十一月二十九日より工事に着手し十二月三十一日竣工せり

(六) 下水溝修繕
租界内福島街、壽街の一部下水溝延長壹百四拾尺高さ平均壹尺四寸の修繕工事は銀六拾弗にて支那人孫聯元に請負方を命じ本年五月二十一日より工事に着手し同二十六日全部竣工せり

(七) 道路の補修
本年中に於ける租界内各道路の補修工事は三月十七日より開始し山口街、壽街、吾妻街、曙街、花園街、福島街、宮島街、松島街、秋山街、常盤街、浪花街、旭街、榮街、關口大街等各街の補修工事を爲し尙壽街道路は特に二回修繕を行ひたり

秋山街	槐	九本	柳	百五十五本
山口街	槐	八本	柳	三十本
計		百七十本	柳	二百六十八本
			槐	九百三十二本
			洋槐	五十四本
			洋槐	百三十三本

(一〇) 大和公園
公園内噴水池及運池等破損漏水せるを以て修繕費銀壹百七拾九弗拾五仙にて村津市之助に請負方を命じ本年三月二十三日より修繕に着手し四月四日終了せり

噴水池及運池の修繕
噴水池の一部破損したるを且つ噴水池に比較して餘りに小形なりしを以て新規に購入することとし本年五月大阪島佐商店へ青銅製電燈付噴水器(價格金五百圓)を注文し七月中旬到着直ちに入造石にて該噴水器取付臺を造り同月三十一日竣工せるを以て翌八月一日より噴水を開始したるに從來より一層風致を増し且つ噴水器附屬電燈を色電燈と爲したれば夜間の如き噴水と相反映し頗る美觀を呈するに至れり

(一) 電燈燭光の變更

街名	補植數	現在數
旭街	洋槐六十八本	柳 九十本 槐 二百五十五本 洋槐 六十八本
壽街	槐樹 十一本	柳 六本 槐 六本 洋槐 二本
榮街	洋槐 二十五本	柳 五本 槐 五本 洋槐 五本
花園街	洋槐 二十八本 槐 六本	柳 二十本 槐 二十本 洋槐 二十本
福嶋街	槐 二本	柳 二十八本 槐 八本 洋槐 五本
宮島街	槐 五本	柳 四本 槐 四本 洋槐 四本
松島街	槐 十四本	柳 七本 槐 七本 洋槐 七本

(70) (69)

噴水池畔に建設の電燈は従來二百燭光なりしを本年六月一日より四百燭光に變更せり
 (ニ) 石燈籠購入とベンチの新調
 本年六月雪見燈籠一個を購入し噴水池内に据付け又園内來觀者増加の爲め従來備付のベンチにては尙不足を告ぐるの状態なりしを以て更にベンチ十脚を新調し園内各所に配置せり
 (ホ) 通路新設と修繕
 公會堂竣工の爲め福島街に面したる門より公會堂及圖書館前に至る通路を新設し且つ通路の要所に百燭光電燈五個を點し又榮街正門より音樂堂附近に至る通路はスチームローラーを以て修繕を行ひたり
 (ヘ) 樹木草花の栽植
 本年中に左記樹木を購入園内各所に増植し又例年の通り金盞花、コスモス、日向葵、ダリヤ、大輪百日草、撫子、カンナ等播種栽培す
 花 紅果 二十本 海棠 七本
 英桃樹 二十本 小柏樹 三十本
 刺 梅 三百株 洋 槐 樹 五十本
 計 二百二十七本 三百株

五、衛生部

(一) 傳染病患者

本年中に於ける傳染病患者数は租界内に於て十二名(内本邦人十一名西洋人一名)租界外に於て八名(本邦人)計二十名にして昨年比すれば五名増加せり殊に本年四月に至り租界内に於て未だ管て發生を見せり發疹室扶斯患者一名發生死亡し又例年に比し腸室扶斯患者の多かりしは遺憾とす左に之れを要説すれば一月二日旭街に於て猩紅熱患者一名同十八日佛租界に於て同一名發生直ちに傳染病室に收容治療せしめたるに何れも全治退院したり其他の患者は二月中に天然痘患者一名、三月に腸室扶斯患者一名、四月に天然痘患者一名、腸室扶斯患者七名、發疹室扶斯患者一名、五月に腸室扶斯患者一名、七月に同二名、九月に同一名、バラチアス患者一名、十一月に腸室扶斯患者二名發生し内發疹室扶斯患者一名、腸室扶斯患者二名死亡し他は悉く全治せり今本年中に於ける患者の轉歸を掲ぐれば左の如し

病名	患者數	治癒	死亡
猩紅熱	二	二	
天然痘	二	二	
腸室扶斯	一四	一二	二
發疹室扶斯	一		一

(72) (71)

又左に既往五ヶ年間に於ける傳染病患者一覽表を掲げて參考に資す

病名	自明治四十三年至大正三年	自明治四十三年至大正四年	自明治四十三年至大正五年	自明治四十三年至大正二年	自明治四十三年至大正三年
天然痘	一	一	四	一〇	七
假性的里亞	一	一	四	七	三
實扶的里亞	一	一	四	七	三
腸室扶斯	一	一	四	七	三
バラチアス	一	一	四	七	三
虎列拉	一	一	四	七	三
猩紅熱	一	一	四	七	三
疑似猩紅熱	一	一	四	七	三
赤痢	一	一	四	七	三
發疹室扶斯	一	一	四	七	三

(二) 種痘の施行

本年二月上旬佛租界に於て天然痘患者一名發生以來更に支那街に於て該患者續發の兆ありしを以て豫防上毎年秋季に行ふべき種痘を特に春季に繰上げ施行することとし本邦人に對しては四月十三日より同十七日迄五日間例年の通り壽街花座に於て施行し又支那人に對しては四月二十日より同月二十二日迄三日間天安里、德義樓、天仙茶園橫翠喜下處及剛口舊通潔局並同慶茶園下處等に便宜出張して之れを施行せり今本年中の種痘人員を掲ぐれば左の如し

種痘人員	數
日本人	八百十六名
支那人	六百九十八名
計	一千五百十四名

(三) 清潔法の施行
 本年中に於ける租界内の清潔法は例年の通り春秋二季に施行せり即ち春季は五月六日より同十四日迄八日間、秋季は花園街、芙蓉街等家屋増築に伴ひ清潔法施行區域擴張の必要と春季より二日間日數を増し十月十二日より同二十一日迄十日間とし其都度告示を以て日割を公告し且つ日割書施行心得書等を各戸に配布付屬せり

(四) 野人撲殺の勵行

(74)

(73)

狂犬病豫防の爲め本年中租界内野犬捕殺を勵行せしに二月四十頭七月九十二頭八月七十頭十二月七十頭計二百七十二頭を捕殺せり

(五) 水道使用者の増加

本年十二月末に於ける租界内専用水道使用者数は本邦人九十二戸支那人十二戸計壹百零四戸にして昨年に比し本邦人に於て二十一戸増加せり又専用水道給水量及共用給水量を合計すれば本年中の給水量は參千八百拾九萬五千九百四拾瓦魯にして前年に比し二割三分の増加を示せり今既往八ヶ年間に於ける給水量を掲ぐれば左の如し

年次	給水量
明治四十年	六、五六八、五六〇瓦魯
同 四十一年	一〇、六九八、三九〇瓦魯
同 四十二年	一一、二〇四、九四〇瓦魯
同 四十三年	一三、二七七、二七〇瓦魯
同 四十四年	一九、四一〇、一七〇瓦魯
大正元年	二三、九二三、六一〇瓦魯
大正二年	三一、〇〇三、九二〇瓦魯
大正三年	三八、一九五、九四〇瓦魯

右及報告候也

大正四年二月

天津居留民團

行政委員會議長

森 辨 治 郎

大正三年民團事務報告書終

